

福居

vol. 99

FUKUI YEG EXPRESS

YEG

発行日/平成14年10月25日 発行者/山岸寛士 編集者/石村史朗
発行所/福井商工会議所青年部メディア委員会 福井市西木田2-8-1 TEL:0776-33-8253 FAX:0776-36-8588



CONTENTS

- 2 江守会頭に聞く
- 3 第4回 YOSA KOI イッチョライ
- 4 桜ハートランド 越前時代行列
- 5 例会
- 6 第6回ふくい市民会議
- 7 第1回・第2回福井YEG塾
- 8 三軍会交流
- 9 ハイウェイビジネス交流会
- 10 新入会員紹介 会費情報

特集 江守会頭に聞く

福井商工会議所の江守幹男会頭と青年部の山岸寛士会長の対談、青年部の印象や経済人としての心構えを聞いた。

市民の皆さんが期待している。



会頭 青年部といえば、やはり「YOSAKOI イッチョライ」が印象的だ。市民の皆さんが毎年楽しみにしている。山岸 「日華化学」さんも出場されていましたね。

会頭 会社としては命令していないが、若い人達から参加しようという声があがった。

山岸 初出場で入賞、おめでとうございます。

会頭 入賞はただの結果で、参加することが大事だと思う。YOSAKOI は参加する楽しさがあり、そこが市民に活力を与えている。

山岸 すでに次年度への取り組みは始まっています。参加者が年々増えており、これからどうするかが課題となっています。

会頭 市民に活力を与えられるよう頑張ってください。大いに期待している。

「青年部が先端を切って改革してほしい」

山岸 青年部は経済人の集まりです。イベントはイベントとして、自分の商売で地域に貢献していかなければ本

第4回 YOSAKOI イッチョライ

「第4回YOSAKOI イッチョライ」も大きな事故もなく大成功のうちに幕を閉じました。文頭にあたりご協力いただいた関係各位の皆様に、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

福井商工会議所青年部
イッチョライ委員会一同

4,000人の大演舞

「第4回YOSAKOI イッチョライ」は8月3・4の2日間、フェニックス会場・駅前会場・中央公園会場の3会場で開催されました。年々拡大を続けてきました。今年の参加チームは県内62チーム、石川からの友情出演チーム2チーム、北海道からの県外招待チームが1チームの計65チーム、踊り手の総数は3,846人の規模となりました。チーム編成も、地区・学校・職場・グループと様々、「YOSAKOI イッチョライ」の広がりを感じました。

夕方5時。一部一組目の曲が一斉に鳴り響き演舞開始。5時間の熱いドラマがスタートしました。もちろん昨年導入したパレード方式を今年も採用。フェニックス会場は、例年同様「フェニックス通り」に北・南の2会場が、さらに順化小学校前の「さくら通り」に東会場が新設。各チームとも裁判所交差点へ向けて3回の演舞を披露しました。同時開催

未転倒です。今年は、青年部の原点に戻り、自己研鑽に努めていこうと考えています。しかし、青年部のメンバーは皆若く、色々なものの見方、選択のポイントがあれば教えて下さい。

会頭 いかなる世でも地域を活性化させる、国を興すのは青年がする。青年のエネルギーが地域を起し、国を興し、企業を起している。青年部が地域の中で先端を切って改革をして欲しい。

しかし、福井の県民性はすばらしいが、一方で自己主張をすることに欠けていると思う。自分の地域・自分の商品など、自分のことをアピールできるようにもならない。YOSAKOI は自己主張をする良いきっかけになるのではないか。

このグローバルな時代で、物を言わずして何も相手に伝えることができない、というのを肝に命じて欲しい。

「リスクを怖れず失敗はノウハウに」

山岸 ベンチャービジネスが日本で育たない理由はそういった人間性にあるのでありませんか？

会頭 特に失敗を怖れるところにある。日本人は減点主義の考えが多い。官公庁が良い例で、どうすれば大過なく過ごすかが風潮となっている。退職するときも「大過なく過ごされて…」などと言われるが、何を言っているんだ？と思う。1回しかない人生で、リスクのあることをしてこなかっただけではないのか。リスクを避けていては新しいことはできない。リスクを覚悟して加点主義で行動しなければいけない。加点主義で成果をあ



げ、失敗は自分のノウハウにしていけば良い。大過なく過ごしてはいけない。リスクを恐れて冒険しなかつたら悔いが残る。

山岸 青年部でも不景気になる、「守ろう」という気持ちになってくることもあるように思われますが。

会頭 守ることも必要だが、

「志を持ち、志にエネルギーをつぎ込め」

山岸 これからの時代を示唆する言葉はありますか？

会頭 「志」を持って欲しい。漫然とせずに、俺はこういう方向に行こう、というものをそれぞれが持つて欲しい。その志に対してエネルギーをつぎ込んで、リスクを冒しても挑戦して欲しい。このデフレの時代だからこそ勝負して欲しい。

山岸 青年部では来年度、全国会長研修会を福井で開催します。

会頭 いいね。全国の青年経済人が一同に会するような良い機会はない。福井を大いにアピールしながら自分達が地域・国を変える意気込みで取り組んで欲しい。協力もしていく。

山岸 ありがとうございます。

の駅前ステージ会場も合わせ、福井市中心街は「YOSAKOI イッチョライ」で盛り上がりました。

今年は、各会場での個別部門上位2チームが総合部門に進出、6チームの中からフェニックス大賞が決定しました。総合部門では沿道一杯に見物の方が詰め掛け、上位チームの演舞を楽しんでいただきました。

ラストは今年一番力を入れた「総踊り」。一つの会場に4,000人が大集合し全員で演舞。同じ曲で同じ振り付けで一同に介して踊る姿は圧巻でした。

「初めの話め」

●ポスターコンペ

踊り手以外でイッチョライに関わる方を探そう！を目標に、これまで市民実行委員会で企画作成してきたポスターの図案を広く一般から募集しました。企画側の準備不足があったもの一般の方、学生の方など59点のご応募をいただきました。



た。その中から専門学校生水上恵理さんの作品が優秀賞を獲得。今年のポスター図案に採用されました。審査も西畑福井大学助教授を審査委員長にお迎えし、市民実行委員会有志が担当。「みんなで創

りあげる祭り」が実践された取り組みでした。

ある学校では、ビデオを鑑賞してから自分達のイメージを膨らませて作品を手掛けてくれたそうです。また一人また一人と「イッチョライ」が増えていくようですね。

●個人賞

市民実行委員会で「個人賞が欲しい。」との意見があり、個人賞を初めて設けました。個人賞は各会場演舞の3回目を対象とし、授与は青年部OBであるあじさい会にご協力をいただきました。何もかもがはじめての取り組み。決定から3週間という短期間の中で「どういった賞にするか？」「記念品はどういうものにする？」「試行錯誤の準備となりました。鳴子の形をしたアクリル製の個人賞プレートに、夜の照明があたると光る材質の紐をつけ「第4回YOSAKOI イッチョライ」の個人賞が完成。当日、踊り手の皆さんに各チーム3つずつ授与されました。

●運営ボランティア

「ボランティアを広く募るなら、参加者自らまず経験を。」とのことで、参加ルールに運営ボランティアの拠出を織り込み運営ボランティアを募りました。参加チームから61名の参加をいただき、進行運営面の仕事を担っていただきました。当初当日までは2回の会議を予定していましたが、青年部側が嬉しく思える程ボランティアの方々の意識は高く、「我々も任せられたからには責任を持って取り組むのです。」というご意見から会議が1回追加されました。踊り手以外の一般の方が取り組んでいただいた今回の運営ボランティア。今後の「YOSAKOI イッチョライ」の大きな力となっていくことができるでしょう。

●食のエリア

やはり祭りが盛り上がるのは「食」。今年は市民実行委員会で「食のエリア」に取り組みました。お弁当からお菓子まで幅広く準備。出店いただいた企業の協力もあり、祭りの「食」という分野にも新たに一石を投じました。

★★★
★第5回入向かい

まだまだ生まれたばかりの「YOSAKOIイッチョライ」。その企画運営を担う市民実行委員会。今年は役員会も充実し、様々な意見交換が行われています。常に「みんなで創りあげる祭り」を目標に今後とも取り組んでいきたいと思います。先日の役員会でも議題にありましたが「YOSAKOIイッチョライ」は「イッチョライ」(今は「イッチョライ節」)にこだわり、県全体が一つになれるようなお祭りを目指して・・・。

桜ハートランド

平成14年4月7日(日)に、桜ハートランドが開催されました。

我々福井YEGが桜ハートランドで訴えてきた足羽河原の桜の延命と保存が福井の自然・観光資源の保護、昨年より福井市が企画する、2週間にわたる「ふくい春まつり」に発展したと言っても過言ではないでしょう。そんな今までの桜ハートランドの中でも、今回初めて子供を対象にしたイベントを開催しました。

まず、『さくらハートマップ』の作成。素晴らしい宝、



地図に正確な位置関係と番号を書き込みデジタルデータとして保存しました。同時に、そのデータを基にパネルを作成、同会場にて展示しました。そして自画自賛で申し上げますメインイベントが「桜トンネル美術館」福井市内の保育園・幼稚園に「桜」と言ったら」と子供たちに問いかけて絵を募集。約300枚を目標に据え会員皆様にご協力を仰いだ所、なんと478枚もの絵が集まってしまいました。これを九十九橋欄干と桜並木に展示。

隆盛に咲く桜に華を添えた(かな?)自然の美術館が実現しました。

そして、その絵を見に来くれた子供達を対象に「Saku!」[「Ecoウォークラリー」を開催。桜並木道にチェックポイントを設置。そこで、さくらカルテ記載事項の問題に答えてもらうクイズ形式のウォークラリー。終了した参加者に、「足羽さくら博士修了証」とさくら餅を配布しました。

また、その1週間ほど前、昨年に引き続き、(株)日本さくらの会調査担当樹木医・浅田信行先生が来福されました。先生の見解では、手入れ次第でまだまだ長生き出来る

足羽河原の桜並木。その正確な本数・位置関係、さらに樹木の健康状態をも行政等管理団体は把握し、「桜カルテ」も存在しています。その貴重な資料を市民と共通のツールにする為に今年度は、桜橋(花月橋間)でナンバリングを実施

越前時代行列

交流拡大委員会 友田 博道



桜ハートランドの翌週4月14日(日)、過密なスケジュールにもかかわらず新入会員5名を含む20名もの参加で構成された我が「幕末明治隊」。パフォーマンスに於いても、山岸会長扮する松平春嶽公始め各メンバー例年以上に張り切りの行列でした。

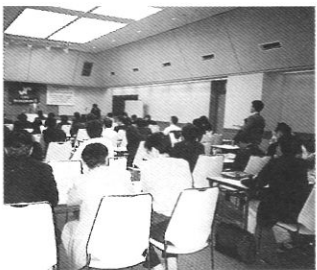
と申しますのも、九十九橋下、特設ステージのパフォーマンス及び、市内行列にて仁愛女子高校ダンス部とのコラボレーションが実現!一日中堂々と女子高生と手を繋ぎ、ダンスに興じられるその僅かな席を狙って、俳優達(?)が熾烈なアピール合戦を繰り返した結果です。勿論、練習に於いても大変盛り上がりました。

そのステージに於いては残念ながら桜は既に散ってましたが、

我々がYEGが時代行列に華を添える事が出来たとしたら幸いです?見事、散ったと言う噂も聞きますが...。最後に会員の皆様のご協力のおかげで2週続けての事業を無事終了することができました。本当にありがとうございました。

交流拡大委員会 畑下 徳洋

総会・四月例会



開きました。出席者52人の会員がペイオフに関して興味

4月24日(日)福井商工会議所・地下国際ホールにて、平成14年度定期総会並びに4月例会が開催されました。

定期総会后、ペイオフに関連して福井銀行の徳沢達志氏、深草栄二氏をお迎えし例会を

金融商品別ペイオフ実施一覧表

金融商品		2002年4月~	2003年4月~	2003年4月~
		~2002年3月	2003年3月	2003年3月
決済性預金	普通預金	○	○	△
	当座預金	○	○	△
	定期預金	○	△	△
	貯蓄預金	○	△	△
定期性預金	定期積金	○	△	△
	金銭信託(元本補填契約あり)	○	△	△
	金融債(保護預り専用商品)	○	△	△
	投資信託	●	●	●
その他の金融商品	外国に本店がある銀行の日本支店	×	×	×
	金融機関の海外支店の預金	×	×	×
	農協、漁協などの貯金	●	●	●
	郵便局の貯金	●	●	●
	金融機関が保護預りにする国債	×	×	×

○全額保護の対象 △元本1千万円とその利息が保護の対象
×保護の対象外 ●ペイオフとは別枠で保護の対象

五月例会

平成14年5月18日(日)問屋団地の福井高砂殿にて5月度例会が開催されました。

今回は、代議員総会が第一部に開催され、参加者は、県連代議員、県会員、長浜YEG、大阪府連、各地YEG会員を含め約100名でした。

例会は、現在テレビ放映中の「マナーの虎」で、有名な(株)生活創庫 代表取締役社長 堀之内 九一郎氏をお招きし、「年商50億のリサイクル王が語る成功の秘訣」事業

失敗から再起への道」というテーマの講演が開かれました。青年経済人として知っておかねばならない仕事への執着心・儲け話の秘策・物の大切さなど、仕事の原点である内容を、楽しくお話いただきました。参加者一同熱心に聞き入っており、講演後の質疑応答でも活発な意見が飛び出しておりました。



お話いただいた内容、また現在出演されている番組内容は、現在われわれが取り組んでいる、アントレプレナーズにも似たもの、福井YEG会員に

六月例会



6月26日(日)福井新聞社新社屋見学会が行われました。会員45人参加。最初に編集局を見学。コンピュータが整然と並び編集制作フロア。本社記者が取材した情報、共同通信社から送信されてくる国内外の記事、写真は膨大。新しく

導入されたシステムは、パソコンで記事や写真の入力や送信を行い、サーバーに集められます。記事や写真の加工、見出し・地紋の処理も、パソコンで行います。組み上がった紙面は、校閲され間違いのない紙面との確認後、直ちに印刷局へフィルムで出力されます。緊張感のある場面を見せて頂きました。次に印刷工場へ。輪転機は最大40ページ、24面のカラー紙面を1時間あたり13万部のスピードで高速印刷できる国内でも最新鋭・最大級を誇ります。輪転機のご音のなか、20万部以上を刷り上げます。我々のために投資して頂きありがとうございます。引き続き福井新聞社読者センター長・四戸友也氏からお話を聞きました。帰りには、正面入口の階段で撮影

した記念写真を掲載した福井新聞青年部版をおみやげに頂きました。もう一度じっくり見学したいですね。

例会委員会 富田幸市

七月例会

日時：平成14年7月24日(水)

18時20分～20時20分(第一部)

20時30分～22時00分(第二部)

場所：福井パレスホテル

内容：第1部 福井商工会議所副会頭・吉田耿介氏ご講演

「福井の若手起業家に期待すること」

アントレプレナー発表とディベート(2案)

第2部「マネーの虎の穴へようこそ」懇親会

アントレ委員会のメインイベントの一つである、オープン例会はヨサコイの準備で多忙な時期にも関わらずアントレスピリッツを忘れないで欲しいという配慮から(?)敢えて行われた。

Y.E.G関係者約50名、一般参加者約20名の合計70名程度の参加によるオープン例会は、吉田耿介副会頭(福井新聞社社長)のご講演、「福井の若手起業家に期待する事」と題し自らの体験をもとに、「若手起業家は、いろんな世代の人間との交流を図り、そこから新たなアントレの種が生まれる」という世代の枠を超えることの重要性を説かれた。今回の例会の柱であるアントレプレナー発表とディベートは、福井Y.E.G内から募集された約20名のアントレの種をもとに当委員会の検討を経て、事業プラン化した2点(株式会社アントレミックスとNPO法人イッチョライまつり)を発表。スライドを作成して、各プランを石川裕

夏委員、及び前田弘委員にプレゼンテーションしてもらった。

ディベートには発表者側2

名による肯定派とその他の2名による否定派に分かれ「この事業に投資・出資する」という命題に対して熱い討論が繰り広げられた。



自分のプランや思いを形にし、プレゼンテーションをする、それを論理的に評価・批評する、という手順は、起業プロセスの一部である。今後の課題はその事業プランそのものが実効性・説得力を持たせられるかどうか、そのスキルを磨くことであるということにこの事業を通して気づいた者も多かったのではないかと。

第2部では、「マネーの虎の穴へようこそ」と題し、応募されたアントレの種の中から、惜しくも一部で発表されなかった種を簡易プラン化して3名の皆様に発表いただいた。番匠委員からは「子供のための独立塾」プラン、村中委員からは「お菓子のB to Bビジネス」、鷲田委員からは「デザイン工事養生シート」案である。来場者全員が模擬札束100万円相当を持ち合い、発表されたプランを選び投資するという趣向で、投票結果は見事「お菓子の〜」がトップに輝いた。アントレシーズ(アントレの種)の募集から、発表、ディベートの準備まで苦労され、準備いただいた多くの皆様に心から感謝申し上げる次第である。これを機にますます、福井Y.E.Gがアントレ色を強めていくことができれば幸い。

アントレプレナー委員会 高原裕一

八月例会

8月28日(水)、リライムにおいて定例行事に引き続き、

福井コンピュータ(株)社長小林眞氏を講師としてお招きし、『経済情勢の現状と経営理念』と題して講演会を開催した。

小林社長からは、戦後から現在にいたるまでの日本経済の推移を前段で説明していただき、日本経済はなぜ不況になったかを解説していただいた。終戦直後は、物不足を解消するための経済がまず勃興し、三白産業(メリケン粉、砂糖ほかの米国からの余剰農産物の輸入、農業生産を高率化させるための化学肥料、建設工事のためのセメント)が経済をひっぱた。昭和30年代末から経済力がついてきた日本は世界的な黒字国になったが平成に入り、生産物が消費量をうまわり物あまりによる不況に陥っている。これからはものでないもの(付加価値、情報)を経済活動の中心であるとの考えを示された。

後段では経営者として会社の経営に対する考え方に必要なことを話され、まず会社を構成するのは人間であることを再認識し、よい人間性を



を引出すように会社作りを考えなければならぬ。それは物事の本質を見抜き、探求する科学性を持つことと社会的使命感を常に意識することが重要であると述べられた。小林社長は、自らの経歴や

経営理念について、若手経済人への期待をこめて約1時間余りにわたり熱く語られた。その姿勢は虚飾の感じられない自然体であり、伝説的な企業家という修飾語から想像されるようなあくのない人柄を感じさせた。今にいたるまでには数しれないエピソードには事欠かなかったであろうが、うけ話しをあえてせず、基礎的な理念の披露と解説は我々にとってアントレプレナーズスピリットを刺激する中味の濃い講演会であった。

例会委員会 藤田 哲朗

第6回ふくい市民会議

平成14年6月2日(日)に開催されました「第6回ふくい市民会議」。そのテーマはこれから「まちづくり」に於いて、欠く事の出来ない重要な「市民と行政の協働」。

その企画のスタートが、平成14年4月から私たちの暮らし福井市においてまちづくりの基本計画となる「21世紀を拓くふくい創造プラン(第5次総合計画)」です。

これは平成24年3月までの10年間の総合計画としてスタートしたもので、基本構想策定段階から市民が参加し、基本理念の中に「市民と行政が連携・協働し、責任を共にする市民参画のまちづくり」と謳われています。

そのコンセプトを基



平成15年度福井会議正式決定!! 商工会議所青年部 全国会長研修会 ～全国初、三冠達成!!～

平成12年度より、当所青年部で誘致活動を継続的に行ってきた「全国商工会議所青年部連合会(以下、商青連)全国会長研修会」が、去る7月24日(水)東京で開かれました商青連役員会にて福井商工会議所青年部を主管とすることで正式に決定致しました。

この会議は各地会議所の会長、及び次年度会長を対象とした「青年部組織の理解」と「各地域青年部の活動の発表・研究」を目的とした会議で、全国400を超える青年部から1,000名を超える参加者が見込まれます。

また、この会長研修会の他、当青年部としては全国大会(昭和60年度)、ブロック(近畿)大会(平成4年度)を開催しており、この3つの大会を誘致・主管する青年部は全国で初となります。今後、福井を全国にアピールできるような企画内容の検討を鋭意進めていきますので、関係各位のご協力・ご支援につきましても、よろしくお願い申し上げます。

福井商工会議所青年部 会長 山岸 寛 士

第21回商工会議所青年部全国会長研修会 福井会議 大会概要

- 目的
各地商工会議所青年部の指導的役割を担う会長、次期会長予定者、および担当事務局を対象に、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚を図るとともに、青年部の当面する課題等について意見交換を行い、青年部組織の活性化と一層の充実に資する。
- 参加対象者
各商工会議所青年部の当該年度会長及び次期会長予定者
各都道府県商工会議所青年部連合会等当該年度会長及び次期会長予定者
参加予定者 約1,200名
- 過去の開催地
平成12年度 愛知県半田市 半田商工会議所青年部
平成13年度 福岡県久留米市 久留米商工会議所青年部
平成14年度 千葉県柏市 柏商工会議所青年部(予定)
- 開催日程(予定)
平成16年2月12日(水) 18:00～20:00
平成16年2月13日(木) 8:00～22:00
平成16年2月14日(金) 9:00～12:00
- 開催場所(予定)
福井フェニックスプラザ/福井商工会議所/福井ワシントンホテル/その他市内宿泊施設など

した記念写真を掲載した福井新聞青年部版をおみやげに頂きました。もう一度じっくり見学したいですね。

例会委員会 富田幸市

七月例会

日時：平成14年7月24日(水)

18時20分～20時20分(第一部)

20時30分～22時00分(第二部)

場所：福井パレスホテル

内容：第1部 福井商工会議所副会頭・吉田耿介氏ご講演

「福井の若手起業家に期待すること」

アントレプレナーズ発表とディベート(2案)

第2部 「マネーの虎の穴へようこそ」懇親会

アントレ委員会のメインイベントの一つである、オープン例会はヨサコイの準備で多忙な時期にも関わらずアントレスピリッツを忘れないで欲しいという配慮から(?)敢えて行われた。YEG関係者約50名、一般参加者約20名の合計70名程度の参加によるオープン例会は、吉田耿介副会頭(福井新聞社社長)のご講演、「福井の若手起業家に期待する事」と題し自らの体験をもとに、「若手起業家は、いろんな世代の人間との交流を図り、そこから新たなアントレの種が生まれる」という世代の枠を超えることの重要性を説かれた。

今回の例会の柱であるアントレプラン発表とディベートは、福井YEG内から募集された約20のアントレの種をもとに当委員会の検討を経て、事業プラン化した2点(株式会社アントレミックスとNPO法人イッチョライまつり)を発表。スライドを作成して、各プランを石川裕

夏委員、及び前田弘委員にプレゼンテーションしてもらった。

ディベートには発表者側2

名による肯定派とその他の2名による否定派に分かれ「この事業に投資・出資する」という命題に対して熱い討論が繰り広げられた。

自分のプランや思いを形にし、プレゼンテーションをする、それを論理的に評価・批評する、という手順は、起業プロセスの一部である。今後の課題はその事業プランそのものが実効性・説得性を持たせられるかどうか、そのスキルを磨くことであるということにこの事業を通して気づいた者も多かったのではないかと。

第2部では、「マネーの虎の穴へようこそ」と題し、応募されたアントレの種の中から、惜しくも一部で発表されなかった種を簡易プラン化して3名の皆様に発表いただいた。番匠委員からは「子供のための独立塾」プラン、村中委員からは「お菓子のB to Bビジネス」、鷺田委員からは「デザイン工事養生シート」案である。来場者全員が模擬札束100万円相当を持ち合い、発表されたプランを選び投資するという趣向で、投票結果は見事「お菓子の」がトップに輝いた。アントレシーズ(アントレの種)の募集から、発表、ディベートの準備まで苦勞され、準備いただいた多くの皆様に心から感謝申し上げる次第である。これを機にますます、福井YEGがアントレ色を強めていくことができれば幸い。

アントレプレナーズ委員会 高原裕一

八月例会

8月28日(水)、ライムにおいて定例行事に引き続き、福井コンピュータ(株)社長の小林眞氏を講師としてお招きし、「経済情勢の現状と経営理念」と題して講演会を開催した。

小林社長からは、戦後から現在にいたるまでの日本経済の推移を前段で説明していただき、日本経済はなぜ不況になったかを解説していただき、終戦直後は、物不足を解消するための経済がまず勃興し、三白産業(メリケン粉、砂糖ほかの米国からの余剰農産物の輸入、農業生産を高率化させるための化学肥料、建設工事のためのセメント)が経済をひっぱった。昭和30年代末から経済力がついてきた日本は世界的な黒字国になったが平成に入り、生産物が消費量をうまわり物あまりによる不況に陥っている。これからはものでないもの(付加価値、情報)を経営活動の中心であるとの考えを示された。

後段では経営者として会社の経営に対する考え方に必要なことを話され、まず会社を構成するのは人間であることを再認識し、よい人間性を引出すように会社作りを考えなければならない。それには物事の本質を見抜き、探求する科学性を持つことと社会的使命感を常に意識することが重要であると述べられた。小林社長は、自らの経歴や



経営理念について、若手経済人への期待をこめて約1時間余りにわたり熱く語られた。その姿勢は虚飾の感じられない自然体であり、伝説的な企業家という修飾語から想像されるようなあくのない人柄を感じさせた。今にいたるまでには数しれないエピソードには事欠かなかったであろうが、うけ話をあえてせず、基礎的な理念の披露と解説は我々にとりてアントレプレナーズスピリットを刺激する中味の濃い講演会であった。

例会委員会 藤田 哲朗

第6回ふくい市民会議

平成14年6月2日(日)に開催されました「第6回ふくい市民会議」。そのテーマはこれから「まちづくり」に於いて、欠く事の出来ない重要な「市民と行政の協働」。

その企画のスタートが、平成14年4月から私たちの暮らす福井市においてまちづくりの基本計画となる「21世紀を拓くふくい創造プラン(第5次総合計画)」です。

これは平成24年3月までの10年間の総合計画としてスタートしたもので、基本構想策定段階から市民が参加し、基本理念の中に「市民と行政が連携・協働し、責任を共にする市民参画のまちづくり」と謳われています。



そのコンセプトを基

平成15年度福井会議正式決定!! 商工会議所青年部 全国会長研修会 ～全国初、三冠達成!!～

平成12年度より、当所青年部で誘致活動を継続的に行ってきた「全国商工会議所青年部連合会(以下、商青連)全国会長研修会」が、去る7月24日(水)東京で開かれました商青連役員会にて福井商工会議所青年部を主管とすることで正式に決定致しました。

この会議は各地会議所の会長、及び次年度会長を対象とした「青年部組織の理解」と「各地域青年部の活動の発表・研究」を目的とした会議で、全国400を超える青年部から1,000名を超える参加者が見込まれます。

また、この会長研修会の他、当青年部としては全国大会(昭和60年度)、ブロック(近畿)大会(平成4年度)を開催しており、この3つの大会を誘致・主管する青年部は全国で初となります。今後、福井を全国にアピールできるような企画内容の検討を鋭意進めていきますので、関係各位のご協力・ご支援につきましても、よろしくお願い申し上げます。

福井商工会議所青年部 会長 山岸 寛 士

第21回商工会議所青年部全国会長研修会 福井会議 大会概要

- 目的
各地商工会議所青年部の指導的役割を担う会長、次期会長予定者、および担当事務局を対象に、地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と意識の高揚を図るとともに、青年部の当面する課題等について意見交換を行い、青年部組織の活性化と一層の充実に資する。
- 参加対象者
各商工会議所青年部の当該年度会長及び次期会長予定者
各都道府県商工会議所青年部連合会等当該年度会長及び次期会長予定者
参加予定者 約1,200名
- 過去の開催地
平成12年度 愛知県半田市 半田商工会議所青年部
平成13年度 福岡県久留米市 久留米商工会議所青年部
平成14年度 千葉県柏市 柏商工会議所青年部(予定)
- 開催日程(予定)
平成16年2月12日(水) 18:00～20:00
平成16年2月13日(木) 8:00～22:00
平成16年2月14日(金) 9:00～12:00
- 開催場所(予定)
福井フェニックスプラザ/福井商工会議所/福井ワシントンホテル/その他市内宿泊施設など

商青連幹部、福井視察



に、基調講演は「協働のデザイン」等の著者、世古一穂氏で、自立するNPO、連携・協働の仕組みを解り易く講演して頂きました。その講演を受けて第5次総合計画審議会委員の今村氏、吉川氏、岸田氏。そして、鯖江市民活動交流センター理事長の清水氏の4人でのパネルディスカッション、その後参加者全員によるグループ討議へと進んでいきました。

盛り沢山の会議を終えて、参加した皆さんが「ふくいらしさ」を忘れずに市民は今何をすればよいのか？それぞれ具体的にイメージし、共に考え、共に行動を起こすきっかけとなったなら幸いです。

交流拡大委員会 番匠 功

第1回福井YEG塾(アントレ塾)

日時：平成14年5月22日(水)午後7時～午後9時
会場：商工会議所6F特別会議室

内容：横山義幸氏講演

／「経営の理念」について

YEG会員の「アントレプレナーシップの高揚と経営の実務に役立つ塾」を目標に今年度始めて企画された福井YEG塾(通称・アントレ塾)の第1回目が5月22日、横山義幸氏(株式会社タロー代表取締役/SPC JAPAN創設初代理事長)をお招きして開催された。横山氏は自ら美容業に携わる傍ら、現在美容業界ナンバーワン規模を持つ同業団体であるSPCジャパンを創設。美容業界に旋風を巻き起こした第一人者である。経営哲学Ⅱ人間哲学に基づいた美容業界の経営の近代化を訴え、多

て、来場者全員があっけにとられつつも、妙に納得させられた、こりゃ参った!という表情。さすが、氏の話術、ご講演術には敬意を表したい。

篠原氏のご講演を通して、売れるアイデアのベースは、「他人が求めていることを提供する」この一語に尽きる、と悟ることができた。此れ即ち商いの鉄則なり、と再確認させられた?時間であった。

アントレプレナーズ委員会 高原 裕一

ちょっと見軽いが、言葉は重く深い

福井・武生・鯖江三単会交流会

福井・武生・鯖江の各単会が毎年持ち回りで開催している「三単会合同例会」は、7月26日(金)武生パレスホテルにて行われた。

山岸会長以下14名が参加、武生・鯖江のメンバーとの交流を深めた。

県連事業ということもあってか、青年部の歌、綱領・方針とすすみ、吉岡正修県連会長の挨拶が終わると「例会セレモニー」終了という簡潔さであった。

10分の休憩ののち、日本に4人しかいないという「太鼓持」荒井正三氏の講演があり、「親のやっていることと同じことをしていたらその会社に未来はない」「目先の損得にこだわって大魚をのがすな」といった辛口の視点、歴史と人情の機微に通じた粹人の言葉には、見かけとは裏腹な重みがあった。

ビアガーデンに場所を移した懇親会では、もうもうと立ちのぼる焼肉の煙のなか、いよいよ次年度にせまった

くの「信者」を業界内外に輩出している。

今回は、第1回目のアントレ塾ということで、氏の経営、生き方に対する洞察力を中心に「経営の理念」と題したテーマでご講演いただいた。

経営を追求するには、「在り方」が最も重要であると説き、経営の方法論は経営者の在り方をベースに展開されなければならないと分かりやすくご解説。抽象から具象、具体の世界に展開をするその一連の考え方を披露。同時に「地球環境」に対する絶対的価値とその価値に基づいた経営理念の樹立と行動の重要性について説かれた。

県内のYEG以外の美容業界を中心とした一般参加者を含め、30人以上の聴講者に熱く語りかけた。聴講者も、氏の熱い話に耳を傾け、今後の経営を行う上でのベースについて多くの気づきを得たことと思われる。

横山氏は、ご講演に先立ち、早めに福井入り、県内の企業3社(ヨースマー、日華化学、清川メッキ工業)をご訪問。県内企業がまだまだ元気であることを確かめられた。その行動力に感謝と敬意を感じずにはおられない。

アントレプレナーズ委員会 高原 裕一

第2回福井YEG塾(アントレ塾)

日時：平成14年6月14日(水)午後7時～午後9時
会場：商工会議所6F特別会議室

内容：篠原健肇氏講演／「必ず売れる！アイデアの出し方」

第1回目のご講演に比べ、間髪入れず継続開催された第2回目のアントレ塾は、経営コンサルタントとして大活躍中の篠原氏によるご講演(テーマ：必ず売れる！ア

「会長研修会・福井大会」のアピールと、協力をお願いした。

来年は鯖江。どんな趣向の「三単会交流会」になるかとやら、楽しみ。

副会長 慶松 裕司

第3回商工会議所青年部

ハイウェイビジネス交流会

に参加して

さる8月23日・24日加賀市で開催されました、『第3回商工会議所青年部ハイウェイビジネス交流会』に出席してまいりました。山岸会長・吉岡県連会長をはじめとして総勢7名にて参加してきました。

ハイウェイビジネス交流会とは、商青連に所属する各YEGの中で、名神自動車道・北陸自動車道・東海北陸自動車道の高速度道路沿線のYEGが集い、県外YEG会員との交流を深めると共に、参加者が今後の経営につながるヒント

を研修・企業視察等を通して得ていただく為の事業です。

第1回岐阜県各務原市、第2回富山県水見市についての今年で3回目です。

今回は加賀YEGさんが主管されました。初日はホテル「百万



アイデアの出し方)をお願いした。

氏は西武百貨店において、販促企画部で活躍した後、販売促進の得意分野を活かし、この分野におけるコンサルタント業を営んでいる。そんな彼は自らを

「販促バカ」と呼んで憚らない。

そんな篠原氏のご講義は、まず、「売れる清涼飲料水と売れないものとの違い」について、ビジュアル、特にパッケージの視点から具体的サンプルをもとにご解説。如何に商品の持つビジュアル的特性がその後売れ行きに影響を及ぼしているか、逆に言うところには如何に売れるパッケージを創造するかが大きなウェイトを占める、ということの重要性を訴えられた。

また、商売を成功させるも失敗させるも基本的原理は変わらない。しかもそれはそんなに難しいことではない。ということをご講義いただいた。そのエッセンスを含んだ、象徴的なものとして会場の聴講者に一冊の本を回覧された。その本は何であったか!ご来場者だけの特典にして、ここではあまりご披露したくは無いのであるが、同委員会の主旨「あまねくアントレスピリッツ」に反するのしぶしぶではあるが披露するが、それは「北風と太陽」の絵本!(1回しかありません)

氏のご講演のクライマックスに回覧されたその本によっ

石)において『前泊者懇親会』と『加賀YEG設立10周年記念式典』が盛大に行われました。2日目はオリエンテーション後に8つの分科会が開催されました。福井YEGのメンバーはホッコウグループの代表であり、(株)御菓子城加賀藩の北川社長様のお話を聞くことが出来ました。

最初この分科会になったことを聞いたとき、「行ったことあるし、お菓子屋さんの話聞いても業種が違うし・・・」と思っただけでしたが、実際はただのお菓子屋さんではなく、すばらしい企業家・起業家でした。現在グループ内には(株)阿蘇ファームランドがあり、現在その会社は熊本県に100万㎡のテーマパークを所有し、「人・自然・元氣」をテーマに遊・学・食・宿を一緒に出来る『元氣の発信基地』を営んでいます。

驚いたのは170億の費用に対して、借入金金が20億のとこと。残りの150億は自己資金!?

北川社長は九州では超有名人だそうです。心に残った北川社長の言葉に『目標と感謝の気持ちを忘れてはだめ』がありました。

この言葉をこれからの企業経営の上で努力していきたいと思いつつ加賀を後にしました。

来年は福井県内のYEGが主管することに決定いたしました。

PS・ちなみにこの次の日家族で御菓子城加賀藩のお店の2階にある『日本折紙博物館』に行き、家族に喜ばれ、青年部活動の好い面も家族にPRできました。

総務委員会 宇佐美 嘉一



新入会員紹介



朝井 巧

総務委員会

A型 昭和43年12月21日生

勤務先：福井テレビジョン放送(株)

業種：放送業

コメント：青年部のみなさま今後とも宜しくお願い致します。

YEGチームではありませんが、YOSAKOIの踊り子もやっています。今年のテーマは「心と体のストレッチ」。みなさまのお役に立てるようがんばります。仕事の方ではイベントを専門にやっています。

紹介者：出田 吏市



井上 伸彦

メディア委員会

B型 昭和40年4月27日生

勤務先：御ウイット

業種：情報通信

紹介者：村中 洋祐



岩佐 勝

交流拡大委員会

O型 昭和43年5月22日生

勤務先：岩佐タイル工業株式会社

業種：タイル工事業
コメント：YEGに入会して早5ヶ月が経ちました。越前時代行列から始まり、市民会議、YOSAKOIイッチョライなど、いろいろな行事が面白く、とてもいい経験になります。これからも仕事とYEGの両方でガンバっていきたいと思います。

紹介者：畑中 徳洋



野路 昭宏

メディア委員会

A型 昭和50年1月8日生

勤務先：(株)コーズマー

業種：IT関連

コメント：代表野口に変わり、青年部で活動させていただくことになりました。青年部で行われているいろいろな活動を通して自分を高め、地元福井の活性化に貢献したいと思っています。ご迷惑をお掛けすることもありますが、ご指導の程よろしくお願致します。

紹介者：野口 高志



橋詰 英知

交流拡大委員会

A型 昭和43年7月10日生

勤務先：(株)ハシテック

業種：測量機器販売

コメント：YEG内で色々な事を経験し勉強して行きたいです！宜しくお願致します！

紹介者：番匠 功



畑 耕実

例会委員会

昭和37年5月2日生

勤務先：西日本電信電話株式会社福井支店

業種：電信電話

紹介者：山腰 幸雄



細井 圭吾

交流拡大委員会

A型 昭和50年3月30日生

勤務先：笹屋福井本店

業種：菓子製造販売

コメント：はじめまして。羽二重巻の笹屋です。何もわからない未熟者ですが、色々ご指導よろしくお願致します。饅頭一箱から県内何処へでも配達いたします。

紹介者：村中 洋祐



前田 陽一

イッチョライ委員会

O型 昭和38年9月10日生

勤務先：カオスサウンドプロジェクト

業種：作曲家

紹介者：山岸 寛士



松浦 政文

例会委員会

AB型 昭和45年12月9日生

勤務先：ホンダオート福井販売(株)



山本 真貴子

アントレプレナーズ委員会

B型 昭和33年6月20日生

勤務先：住友生命保険相互会社

業種：生命保険営業

コメント：人と人とのふれあいを大切にしたいと思っています。

紹介者：岩本 史枝



吉田 晋造

アントレプレナーズ委員会

O型 昭和36年6月11日生

勤務先：社会保険労務士吉田事務所

業種：社会保険労務士事務所

コメント：社労士として8月より開業しました。よろしくお願致します。

紹介者：高原 裕一



鷺田 裕之

アントレプレナーズ委員会

A型 昭和45年11月5日生

勤務先：ワシタ設計事務所

業種：建築設計事務所

コメント：人には思いやりを持って接したいと思っています。宜しくお願い致します。

紹介者：山岸 寛士



山崎 正弘

メディア委員会

A型 昭和36年2月5日生

勤務先：山崎金属(株)

業種：建設資材販売業

コメント：青年部という言葉の響きにひかれ入会しました。一緒にYOSAKOI踊りましょう。

紹介者：竹下 英二郎



松岡 茂

交流拡大委員会

O型 昭和45年11月25日生

勤務先：松岡茂税理士事務所

業種：税理士業

コメント：青年部活動をおしていろいろな方との交流を大切にしていきたいと思っています。よろしくおねがいします。

紹介者：畑下 徳洋



松田 将裕

アントレプレナーズ委員会

O型 昭和41年5月22日生

勤務先：税理士法人新和会計

業種：会計業務

コメント：地域社会の健全な発展のために何かしたいと考えています。今後とも宜しくお願いします。

紹介者：山岸 寛士



宮腰 稔

交流拡大委員会

A型 昭和49年11月13日生

勤務先：(株)コーズマー

業種：IT関連

コメント：今回青年部で活動させていただく事になりました。青年部で行われている活動を通して地元福井の活性化に貢献できればと思っています。

ご結婚おめでとう

平成14年9月7日結婚



石村史朗 会員
妻 **美衣** さん

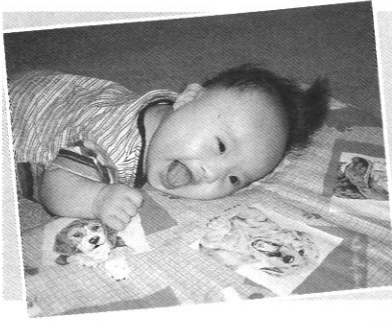
相手はこの人です。
披露宴での「イッチョライゲリラ」にはびっくりしました!! たくさんのお祝い、激励の言葉ありがとうございました。

赤ちゃん誕生おめでとう

藤澤克美会員の三男

克喜 (よしはる) くん

平成14年3月7日誕生



我が家待望?のまたまた男の子。一人のお兄ちゃんにもたくさん可愛がられて幸せ者だね/二人ともすくすく元気よく育つよ!!!

会員短信

インターネットでスーツが買えるお店 テーラーハウスTAKKAMA



高間貞行 会長

今年5月10日、(株)高間繁洋服店は店名を「テーラーハウスTAKKAMA」に変更しました。それに伴い店舗も全面改装しました。

旧来の店舗は一階にありましたが、今回は幸福架け替え工事があり店舗が二階になりました。福井ではお店が二階にあるというのはめずらしいですが、都会では結構ありますよね。

最初は少し抵抗がありましたが、今では眺めも良く結構気に入っています。

昨年の秋には、大阪・金沢と同じような商売をするお店を見に行ってきましたが私の希望するようなお店は、あまりありませんでした。

それでもようやく新店舗完成にこぎつきました。それに伴い、ホームページも開設しました。

同業者を研究しまわった揚句、ようやくサイトが出来上がりました。

尚、新店舗では従来のハンドメイドオーダースーツ(仮縫い付)のみならずオーダーメイドスーツ、オーダーワイシャツ、ネクタイも販売致しておりますので、ぜひご利用ください。

又、オーダーメイドスーツはリーズナブルな39,800円(お仕立上がり、税別)からありますので、ぜひ一度お試しください。よろしく願います。

株式会社 テーラーハウスTAKKAMA

〒918-8003 福井市毛矢2丁目1-7

TEL(0776)655100 FAX(0776)3616299

E-mail: tailor@my-suit.net

URL: www.my-suit.net



西木田通信

「・・・私ね、委員会を7つにしようと思うの・・・」平成13年11月。山岸会長(当時会長内定者)からこの言葉をお聞きした時、私は心の中で叫びました。「ヒュー!!!!!!」

青年部事務局の担当を仰せつかり、早や1年と半年が過ぎました。

担当2年目も半分が過ぎましたが、皆様のお力になれているか、まだまだ自信が持てない日々でございます。

山岸7委員会体制の下、前進しつづけるYEG。

地域の経済的発展の礎を目指す皆様のサポートに全力を注ぐ所存ですので、今後ともよろしくおねがいします。

事務局 小谷 孝一

会員募集中



福井商工会議所青年部

行動こそ真実

いまこそ、アントレプレナーズスピリッツ

事務所/〒918-8580 福井市西木田2-8-1
福井商工会議所 地域事業課
TEL0776-33-8253 FAX0776-36-8588

<http://www.fcci.or.jp/fyeg/>